

伊那谷森林計画区

第四次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成25年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
(1) ~ (4)	保護林の名称及び区域	9
(5)	緑の回廊の名称及び区域	15
6	レクリエーションの森の名称及び区域	16
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	24
8	その他必要な事項	25
(1)	施業指標林、試験地等	25
(2)	フィールドの提供	26
(3)	森林共同施業団地	27

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢等 年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
(短期)	小面積分散伐区	789.28	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
	長伐期	5,586.73	育成単層林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	ヒノキ 150 カラマツ 100

(単位：面積 ha、伐期齢等 年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐	997.45	育成複層 林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	ヒノキ 150 [75] スギ 130 [65] カラマツ 100 [60]
漸伐 複層型	天然林 漸伐 複層型	970.20	育成複層 林施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林を成立。	N 200 L 180
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	683.22	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	95 (35)
	天然林 択伐 複層型	1,893.40	天然生林 施業		N200 (35) L180 (25)
その他		27.74	遺伝子保存林、検定林、施業指標林、試験地、精英樹保護林等の目的による。		
合計		10,948.02			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[]は複層林の初回伐採の伐期齢である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：面積 ha)

施業群	上限伐採面積
小面積型	52.61
長伐期	186.22
複層型	78.53
択伐複層型	368.08
漸伐複層型	24.25

注1) 契約に定める分収林が含まれる場合には上限伐採を超えて定めることが出来る。

注2) 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の面積である。

(4) 伐採総量

(単位：材積 m³、面積 ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備		(1,001.35) 92,822	92,822				
	気象害防備							
	計		(1,001.35) 92,822	92,822				
自然維持タイプ								
森林空間利用タイプ			(34.27) 2,710	2,710				
快適環境形成タイプ								
水 源 涵 養 タ イ プ	小面積分散型	12,722	11,481	24,203				
	長 伐 期	1,774	81,616	83,390				
	人工林複層伐		18,391	18,391				
	人工林択伐複層型		15,845	15,845				
	そ の 他		568	568				
	計	14,496	(1,320.09) 127,901	142,397				
合 計		14,496	(2,355.71) 223,433	237,929	22,071	260,000	260,000	
年 平 均		2,899	(471.14) 44,686	47,585	4,414	52,000	52,000	

注 () 書きは間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m³)

市 町 村 名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量		
茅 野 市	1,469	11,743	13,212			
下 諏 訪 町		26,104	26,104			
富 士 見 町		9,111	9,111			
伊 那 市	13,027	63,200	76,227			
駒ヶ根市						
辰 野 町		13,866	13,866			
飯 島 町		1,025	1,025			
宮 田 村		575	575			
松 川 町						
飯 田 市		30,447	30,447			
阿 智 村		25,624	25,624			
下 條 村		1,802	1,802			
喬 木 村		3,274	3,274			
豊 丘 村		5,062	5,062			
大 鹿 村		30,024	30,024			
中 川 村		1,576	1,576			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：面積 ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成					25.57	25.57
	複層林造成					2.45	2.45
	計					28.02	28.02
天然 更新	天然下種第1類	10.36				6.12	16.48
	天然下種第2類						
	計	10.36				6.12	16.48
合 計		10.36				34.14	44.50

(6) 保育総量

(単位：面積 ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	70.05				218.23	288.28
	つる切	117.24		12.75		487.92	617.91
	除 伐	42.12				144.20	186.32

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	箇 所 (林班名)	延 長	備 考		
基 幹	改 良	三 峰 川 林 道	3ヶ所 (51林班外)	80			
		三峰川(下)併用林道	1ヶ所 (313林班)	30			
		三峰川(上)併用林道	3ヶ所 (313林班)	70			
		奥 浦 併 用 林 道	1ヶ所 (民地)	15			
		奥 浦 林 道	1ヶ所 (124林班)	40			
		三 峰 川 支 線 林 道	2ヶ所 (84林班外)	40			
		黒 河 内 併 用 林 道	2ヶ所 (229小班外)	100			
		沢 山 林 道	1ヶ所 (308林班)	40			
		横 川 坊 主 林 道	3ヶ所 (1056林班外)	100			
		大 滝 林 道	5ヶ所 (1031林班外)	200			
		瀬 戸 沢 林 道	1ヶ所 (1063林班)	25			
		星 ヶ 塔 林 道	2ヶ所 (1125林班外)	50			
		大 平 林 道	1ヶ所 (1121小班)	30			
		富 士 見 高 原 林 道	3ヶ所 (1341林班外)	50			
		金 沢 支 線 林 道	1ヶ所 (1411林班)	50			
		千 枚 岩 林 道	1ヶ所 (1304林班)	50			
		金 沢 併 用 林 道	1ヶ所 (1403林班)	20			
		黒 川 (黒 川) 林 道	5ヶ所 (2148林班外)	80			
		黒 川 (北 御 所) 林 道	1ヶ所 (2114林班)	50			
		青 木 林 道	2ヶ所 (2065林班外)	50			
		青 木 支 線 林 道	2ヶ所 (2062林班外)	85			
		地 獄 谷 林 道	3ヶ所 (2065林班外)	115			
		陣 ヶ 沢 林 道	4ヶ所 (3213林班外)	75			
		遠山本谷(兔洞)林道	2ヶ所 (3075林班外)	50			
		遠山本谷(兔洞)併用林道	3ヶ所 (民地)	65			
		遠山本谷(遠山)併用林道	2ヶ所 (民地)	100			
		遠山本谷(遠山)林道	5ヶ所 (3002林班外)	210			
		遠 山 本 谷 林 道	5ヶ所 (3006林班外)	100			
		計			66箇所	1,970	

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	箇 所 (林班名)	延 長	備 考		
その他	開設	南	沢	224林班外	2,800		
		尾	勝	谷	298林班外	7,000	
		ミ	ツ	ワ	沢	302林班外	350
		大	鹿	倉	沢	310林班外	1,000
		唐			沢	1048林班外	2,500
		大			平	1119林班外	1,000
		星	ヶ		塔	1126林班外	1,000
		観	音		沢	1157林班外	5,000
		八	ヶ		岳	1338林班外	1,000
		広	原	柳	川	1336林班外	1,500
		中	田		切	2272林班外	1,500
		四			徳	2304林班外	4,000
		程	野		山	3181林班外	2,000
		御	池		山	3187林班外	3,000
		兀			岳	3198林班外	5,000
		計	15箇所	38,650			
合計	開設		15箇所	38,650			
	改良		66箇所	1,970			

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
<p>【南信署】 東俣川、鳴岩沢、柳川、金沢、黒沢谷、大滝沢、唐沢、藪沢、小黒川、東谷、笹ヶ平、小瀬戸谷、東風巻谷、刈萱谷、船形沢、菰立沢、抜沢、牛ぶち沢、荒川、南荒川、みこぶち、手良沢</p> <p>【伊那谷総合治山】 中御所川下流、オンボロ沢、塩川下流、上村、青木川上流、赤なぎ、本谷、園原、尾高沢、松川（与田切川）、岩本沢、松川（阿智川）、兔洞、小嵐川、押出川</p>	保全施設	溪間工	37 (南信署22) (伊那谷総合治山15)
<p>【南信署】 東俣川、渋川、鳴岩沢、黒沢谷、大滝沢、唐沢、瀬戸沢、小黒川、東谷、歌宿沢、藪沢、船形沢、西風巻谷、抜沢、菰立沢、牛ぶち沢、みこぶち、黒松谷</p> <p>【伊那谷総合治山】 黒川中流、中御所川下流、松川（与田切川）、与田切川下流、塩川下流、青木川上流、青木川中流、青木川下流、赤なぎ、本谷、園原、松川（阿智川）、上村、尾高沢、岩本沢、兔洞、小嵐川、押出川</p>	保全施設	山腹工	36 (南信署18) (伊那谷総合治山18)
伊那谷森林計画区管内の保安林区域内	保安林の整備	保安林改良	613.55
合 計	保全施設	溪間工	37 (南信署22) (伊那谷総合治山15)
		山腹工	36 (南信署18) (伊那谷総合治山18)
	保安林の整備	保安林改良	613.55

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。同名の単位流域には（支流域名）を付した。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 森林生態系保護地域

(単位：面積 ha)

名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林 小 班)	特 徴 等	施 業 等
南アルプス 南部光岳	既 設	1,511.03 (保全利用 地区) 1,511.03	下記林班に含ま れる全林小班 3 1 1 7 ~ 3 1 2 0 3 1 2 8 3 1 3 2 ~ 3 1 3 6 3 1 3 8 ~ 3 1 4 0 3 1 4 4 ~ 3 1 4 8	標高1,700mまでの区域で は、冷温帯特有の植生分布 を示す。 1,700m付近から上部は亜 寒帯の植生を示し、コメツ ガ、ウラジロモミ等の針葉 樹が、さらに尾根筋にかけ てはシラベ、アオモリトド マツが多くなる。 最上部にはハイマツ群落 の南限の高山帯や石灰岩特 有の植生も包括している。 我が国の主要な森林帯を 代表する変化に富んだ原生 的な森林生態系を保護す る。	保全利用地区の 森林は木材生産を 目的とする森林施 業は行わない。 細部については 「南アルプス光岳 森林生態系保護地 域計画」により実 施する。
面 積 計		1,511.03			

(2) 林木遺伝資源保存林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	特徴等	施業等
西岳ヤツ ガタケト ウヒ等	既設	5.92	1309に、ち、ぬ、 わ 1310ろ、か、た、 っ	八ヶ岳を中心に分布し、 他にない貴重な純林となっ ているヤツガタケトウヒの 遺伝資源を保存する。	原則として伐採 は行わない。 ただし、保存対 象樹種の安定的か つ恒久的な存続を 図るために必要な 場合は枯損木及 び、被害木の除去 を中心とした弱度 の択伐を行なう。
小黒川ウ ラジロモ ミ等	既設	11.48	211い 212は	温帯と亜高山帯植物の移 行帯におけるウラジロモミ 等の遺伝資源を保存する。	
歌 宿 シラベ等	既設	53.48	276は1~は3	天然カラマツ・シラベの 遺伝資源を保存する。	
大 河 原 イヌブナ等	既設	43.93	2092ろ・は	イヌブナの遺伝資源を保 存する。	
面積計		114.81			

(3) 植物群落保護林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	特徴等	施業等
八ヶ岳 縞枯山	既設	46.85	1228に 1229は 1230ろ・は 1231ろ・に	縞枯山一帯の帯状立枯現 象を示すシラベ群落を保護 する。	原則として、人 手を加えずに自然 の推移に委ねた保 護を行う。
西 岳 カラマツ	既設	3.50	1300ろ	八ヶ岳における残された 天然カラマツ群落を保護す る。	
八ヶ岳 高山	既設	294.68	1348イ 1349イ・ロ 1350イ 1351イ	ヤツガタケキンポウゲ、 ヤツガタケアザミ等の高山 植物群落を保護する。	
七島八島 湿 原	既設	63.91	1138イ・ハ・ニ・ ホ・ハ・ル	中信高原で最も大きな湿 原であり、深さ8mを越え る泥炭層を堆積し、国の天 然記念物の湿原植物の宝庫 でもある貴重な高層湿原植 物群落を保護する。	

(単位：面積 ha)

名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
白 岩 岳 カラマツ	既 設	14.14	256へ 257ろ	赤石山系の天然カラマツ林を形成しており、学術上価値が高い林分を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護を行う。
塩 見 ・ 三 峰 岳	既 設	4,968.24	2ろ・は、3林班 4林班 56~59林班 60ろ、65林班 66林班 70~73林班 89~94林班 100い 101~104林班 108~120林班	南アルプス特有の亜高山帯と高山帯の森林植生及びアツモリソウ等の高山植物群落を保護する。	
豊 口 山 シ ダ	既 設	57.35	2016と 2017へ 2018ほ 2019は	トヨグチイノデ等のシダ類からなる石灰岩地帯特有の植生を保護する。	
中 御 所 カラマツ	既 設	2.70	2113ほ	木曾山脈における希少なカラマツ天然林を保護する。	
本 谷 山	既 設	237.95	2012林班 2013林班 2014な・ら、 イ・ハ・ニ 2015へ	南アルプス山系の亜高山帯から高山帯までの森林植生及び高山植物群落を保護する。	
南アルプス 赤 石 岳	既 設	2,038.78	2026~2041林班	亜高山帯から高山帯までの南アルプス赤石岳周辺の森林植生及び高山植物群落を保護する。	
燕 岩	既 設	98.10	2057イ 2058イ 2076林班 2077林班 2078イ	氷河期遺存植物のアオチャセンシダ等を含む遺存植物群落を保護する。	

(単位：面積 ha)

名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
神 の 石 シ ダ	既 設	20.14	3001ろ 3004り 3053に 3054ほ 3056に~へ	神の石の石灰岩地帯に自 生するイノデ類のうちヤシ ヤイノデは、中国大陸、ネ パール、台湾に見られる が、我が国では2箇所を数 えるのみであり、その群落 を保護する。	原則として、人 手を加えずに自然 の推移に委ねた保 護を行う。
南アルプス 聖 岳	既 設	2,965.76	3033林班 3039林班 3040~3042林班 3058林班 3059林班 3069~3071林班 3083~3086林班 3088林班 3089林班 3091~3093林班 3096林班 3099林班 3104~3107林班 3112林班 3113林班 3116林班 3129~3131林班	南アルプス南部の亜高山 帯から高山帯にかけての代 表的な森林植生及び高山植 物群落を保護する。	
フウキ沢 ヤツガタ ケトウヒ	既 設	26.89	1305ろ 1306ほ・へ 1309ほ・い	八ヶ岳火山群の南麓に位 置し、南西向き斜面の土壌 が薄く基岩が露出した箇所 に生育するヤツガタケトウ ヒを保護する。	ヤツガタケトウ ヒの更新・生育に 影響が出る被圧木 を除去する施業を 行い保護・育成に 努める。

(単位：面積 ha)

名 称	新・改 既設別	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
尾 勝 谷 ヤツガタ ケトウヒ ・ ヒメバラ モミ	既 設	287.69	280い 281林班 282林班 283い・イ 284ろ 289る・わ・か・イ	三峰川水系戸台川支 流の、尾勝谷本流及び 尾勝谷塩沢地域に石灰 岩の層が延びており、 この地域に生育するヤ ツガタケトウヒ・ヒメ バラモミを保護する。	コメツガ・シラベ 等を主とする天然林 は自然の推移に委ね る。 カラマツ人工林に ついては必要に応じ 間伐などの施業を行 う。 林内に生育するヤ ツガタケトウヒ等の 保護・育成に努め る。
丸 山 谷 ヤツガタ ケトウヒ ・ ヒメバラ モミ	既 設	51.46	6に・ほ 8い 9い 10い 133に・ロ・ハ・ニ	三峰川水系の支流の 丸山谷北沢及び南沢に 石灰岩の層が延びてお り、この地域に生育す るヤツガタケトウヒ・ ヒメバラモミを保護す る。	コメツガ・カンバ 等の天然林は自然の 推移に委ねる。 生育するヤツガタ ケトウヒ・ヒメバラ モミは保護、育成に 努める。
小 瀬 戸 谷・東風 巻谷 ヤツガタ ケトウヒ ・ ヒメバラ モミ	既 設	122.01	13に 17い・ろ・り・る・わ・ か 18い・ほ・ぬ・た・そ 19い・ろ・イ	三峰川水系小瀬戸谷 及び東風巻谷にかけて 石灰岩の層が延びてお り、この地域に生育す るヤツガタケトウヒ・ ヒメバラモミを保護す る。	コメツガ・カンバ 等の天然林は自然の 推移に委ねる。 カラマツ人工林に ついては必要に応じ 間伐などの施業を行 う。林内に生育する ヤツガタケトウヒ・ ヒメバラモミの保 護・育成に努める。 漸伐未更新地は更新 補助作業を行う。
風 巻 峠 ヤツガタ ケトウヒ ・ ヒメバラ モミ	既 設	71.15	83ろ・は・と・わ・イ 84い・は・と・ち・ぬ 85い・は・ハ・ぬ	三峰川水系風巻峠周 辺の右岸側斜面にある 石灰岩及び泥岩の層が 南北に延びており、石 灰岩の崖の周辺に生育 するヤツガタケトウ ヒ・ヒメバラモミを保 護する。	シラベ・カンバ等 の天然林は自然の推 移に委ね、漸伐未更 新地は必要な更新補 助作業を行う。 カラマツ人工林に ついては必要に応じ 間伐等の施業を行い ヤツガタケトウヒ・ ヒメバラモミの保 護・育成に努める。 なお、保全施設事 業の実施にあたって はヒメバラモミ等の 保全に配慮した工 種、工法を採用し適 切に行う。
面 積 計		11,371.30			

(4) 特定地理等保護林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	特徴等	施業等
白岩岳	既設	81.20	253は 255に 256ろ	白岩岳を中心に石灰岩が露出している特異な地形を保護する。	地形、地質等の特性を踏まえ原則として森林施業は行わない。
巫女淵	既設	182.52	48は 49ろ・は 50ろ 51は 78林班 79林班	石灰岩の断崖と渓谷及びその谷間に生育する天然カラマツ、ヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ等を保護する。	なお、保安施設事業の実施に当たっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用して行う。
仙丈岳	既設	2,886.49	263~266林班 269い・ろ・イ・ロ 270~275林班 276い・ろ・に・イ・ロ 277~279林班 285林班、286ろ 288は、291は	広大な石灰岩が露出した幕岩、氷河地形並びに数多くの基岩から構成されている特異な地形を保護する。	
中央アルプス 駒ヶ岳	既設	2,294.59	2101ろ・は、2102林班 2103ろ・は・イ~ハ 2109ろ・は・イ 2110ろ・は・イ 2111い、2135ろ 2136は、2139ろ 2236イ、2237イ 2240は・に・イ・ロ 2241に~と・イ・ロ 2242イ・ロ 2246林班 2247林班 2248林班、2249は 2255~2257林班	池の平モレーン等の氷河地形を初めとする特異な地形を保護する。	
面積計		5,444.80			

(5) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	延長 (km)	面積 (ha)	位置 (林小班)	特 徴 等
緑の回廊 八ヶ岳	改 設	21.0	3,675.86	1202は~ほ・イ、1204林班 1205い~は・イ~ハ・ハ、1206~1208林班 1209い~は・イ・ハ、1210~1218林班 1219ろ、1220ろ、1221ろ、1222林班 1223林班、1224い~は・イ~ハ 1225い・イ、1226林班、1227い~に 1228い~は、1229い・ろ・に・イ 1230い、1231い・は、1232林班 1233い~と、1234い~ほ・イ・ハ 1235い~へ、1236い~り・イ・ロ・チ~ヌ 1237い~ほ・ロ、1238林班、1239ろ 1245林班、1251に、 1252~1254林班、1259ろ・は 1260林班、1261ろ、1263ろ、 1264は、1265い・ろ、1267林班 1268林班、1269い、1270い・ロ 1271林班、1272林班、1279林班 1280林班、1281い・ろ・ロ、 1282林班、1283ろ・に・ほ、1287は・に 1288い~に、1289い~へ・ロ 1291~1297林班、1298は・イ 1300い・は・に、1301林班、1302林班 1307林班、1308林班、1309へ・り・る 1310は・ほ~と・り~わ・れ・そ・ね~ふ 1311は~わ・れ~の、1312~1314林班 1315い~は・ロ、1316~1318林班 1321は、1322林班、1323林班 1326林班、1327林班 1342~1344林班、1345イ・ロ・ニ 1346イ、1347林班、1352~1355林班	<p>緑の回廊設定区域は、千曲川上流森林計画区の蓼科山から伊那谷森林計画区の八ヶ岳連峰編笠山までの稜線を結ぶ区域となる。</p> <p>八ヶ岳縞枯山植物群落保護林、白駒コメツガ植物群落保護林、八ヶ岳高山植物群落保護林、西岳カラマツ植物群落保護林、西岳ヤツガタケトウヒ等林木遺伝資源保存林の各保護林を連結し、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育区域の拡大と相互交流を促す等、森林生態系の保護・保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は亜高山帯のシラベ・コメツガ等の針葉樹天然林と高山帯で構成されている。</p>
			伊 那 谷 : 3,675.86 千曲川上流 : 2,155.83		
			計 5,831.69		

注) 貸付区域の見直しによる林地増で設定面積が0.09増となる。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
北八ヶ岳	既 設	1,037.03	ゾーン区分別 の林小班一覧 表のとおり	<p>当地域は東信・南信 両森林管理署にまたが り北八ヶ岳連峰の景勝 地を占める森林であ る。</p> <p>北八ヶ岳ロープウェ イ終点には有名な溶岩 台地である坪庭があ り、景観上も学術的 にも貴重なものである、 また、麦草峠は国道2 99号が通っており、 駐車場、宿泊施設等 が整備され、登山客、 ハイキング客の利用 拠点となっている。 自然資源が豊富であ り、春から秋は自然 探勝的利用、冬は北 八ヶ岳ロープウェイ 周辺の林間コースを 利用してのスキーな ど四季を通して利用 されるレクリエーシ ョンの場である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・園地 (国・地方公共団体・ 民間) ・ロープウェイ (民間) ・山小屋 (民間) ・スキー場 (民間) ・駐車場 (茅野市) 		
面 積 計		1,037.03						

北八ヶ岳自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

(単位：面積 ha)

ゾーン区分	面積	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
自然観察教育ゾーン	127.18	1224ろ、1225い、1226林班 1227ろ・は、1228は	天然生 林施業	・ 山小屋 (民間)		
		1225イ~ハ	林 地 以 外			
風 景 ゾ ー ン	750.81	1204い	育成複 層林施 業	・ 園地 (国・地方公共団体) ・ 山小屋 (民間)		
		1207に・へ・と、1208い・に 1209は、1210い~ほ、1211林班 1212い~ほ、1213~1217林班 1221ろ、1222林班 1223林班、1228ろ 1229い・ろ・に 1230い、1231い・は 1232林班、1233い~と 1234い~ほ、1236ほ・と 1237に・ほ、1238は・に	天然生 林施業			
		1209イ~ハ、1210イ、1212イ 1229イ、1233イ、1234イ~ハ 1236イ・ロ・チ・リ	林 地 以 外			
風 致 探 勝 ゾ ー ン	159.04	1224い・は、1227い・に 1228い、1235い~へ 1236い~に・へ・ち・リ 1237い~は、1238い・ろ	天然生 林施業	・ 園地 (国・地方公共団体・民間) ・ ロープウェイ (民間) ・ 山小屋 (民間) ・ スキー場 (民間) ・ 駐車場 (民間)		
		1224イ~へ、1227イ~ハ 1228イ、1235イ、 1236ハ~ト・ヌ・ル、1237イ・ロ	林 地 以 外			

(2) 自然観察教育林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
八ヶ岳	既 設	1,287.36	1247ろ～に・へ～ち、 1250い・ろ、1251ほ 1253林班、1254い 1255は、1256ろ 1257い、1258ほ・へ 1259い、1260は 1264ろ～に、1265は 1266ろ～は 1267は～に ----- 1246い～は 1247い・ほ・り～る 1249林班 1250は～に 1251い～に、1252林班 1254ろ、1255い・ろ 1256い・は、1257ろ 1258い～に 1259ろ～は 1260い・ろ 1261～1263林班 1264い・は 1265い・ろ、1266い 1267い・ろ、1268林班 1269い、1270い 1343い、1344い ----- 1246イ～ハ 1250イ・ロ 1254イ～ハ 1255イ～ハ 1256イ～ハ、1266イ 1269イ、1270イ～ハ 1343イ、1344イ 1345林班、1346林班	八ヶ岳連峰のほぼ中央に位置し、シラベ・コメツガ等亜高山性樹種からなる天然林で、上部一帯は高山植物の宝庫である。 首都圏等からの交通条件が良く、山麓一帯の民有地には数多くの温泉があり、別荘・各種スポーツ施設の設置が進んでいる。 1,000ha以上に及ぶ区域は自然景観に優れた場や動植物の観察の場所、森林施業の普及・啓発に適した場等があり、森林・林業を学習できる地域である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 旅館 (民間) ・ 山小屋 (民間) ・ 野営場 (民間) ・ 駐車場 (茅野市) ・ 便所 (茅野市)		
面積計		1,287.36						

(3) 野外スポーツ地域

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
富士見	改 設	114.61	1337い・は ----- 1334ろ 1335ろ 1336い・ろ 1337ろ・に～る ----- 1334ハ 1335イ 1336イ 1337イ～ニ	富士見高原創造の森に隣接したカラマツ人工林からなっている、隣接の民有地には各種運動施設、別荘、ペンション等豊富な保健休養施設がある。 国有林内のスキー場は首都圏等から近いこともあり多くの利用者に使用されている。 今後これらの施設整備を図ることにより野外スポーツの場として活用される適地である。	育成単層林施業 ----- 育成複層林施業 ----- 林地以外	・スキー場 (本郷・落合・境 財産区管理者 富士見町長)		
面積計		114.61						

(4) 風景林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
蓼科山	既 設	93.73	1202ろ～ほ 1204に 1205ろ・は 1206ろ～に 1207は・ほ ----- 1202イ 1204ロ 1205ニ～ハ	際だったコニーデ型の蓼科山は八ヶ岳連峰の北端に位置し、山頂からは南北アルプス、浅間山、八ヶ岳山系等の眺望が素晴らしく麓の大河原峠を拠点に年間多くの登山者に利用されている。 山麓の白樺高原一帯は別荘、ホテル等の宿泊施設や、運動場、スキー場等が整備されて一大リゾート基地となっている。 林相はシラベ・アオモリトドマツ・ダケカンバを主体とする天然林で構成されている。	天然生林施業 ----- 林地以外	・山小屋 (民間)		

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
三級の滝	既 設	34.76	1013へ・ち、1014と 1016り、1022ほ ----- 1013に 1014に 1023に・へ・と ----- 1013イ～ハ	横川溪谷の上流部の 中心的な景勝地で、三 段を構成する滝が周辺 のコメツガ・ヒメコマ ツ・カツラ・トチ等の 天然林と一帯となった 景観を呈し、自然観 察、森林浴、キャンプ 等に活用されている。 国有林の入り口にあ る国の天然記念物の 「横川の蛇石」は周辺 林分と一体で優れた景 観をなしている。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業 ----- 林 地 以 外	・ 歩道 (国・辰野町) ・ 野営場 (辰野町)		
霧ヶ峰	既 設	131.22	1103は、1104は 1105は、1112は 1128は 1129ろ・は、1132ろ 1144ろ、1145に・へ 1149へ ----- 1143い・へ、1144い 1145ほ ----- 1103ハ、1104ニ 1105イ・チ 1107イ・カ 1110イ・へ・ト 1111イ・ニ・ホ 1112イ・ハ 1128イ、1129イ 1132イ、1143ロ 1144イ、1145イ 1149イ・ロ	当該地域は中山道の 要衝であった和田峠、 霧ヶ峰周辺の森林帯、 ビーナスライン及び県 道諏訪白樺湖・小諸線 に近接する区域であ る。 この一帯はビーナス ラインの沿線にあり、 矮小化したカラマツ人 工林、ミズナラ天然 林、草原性植物が優れ た景観を呈している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業 ----- 林 地 以 外	・ 歩道 (下諏訪町)		

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
入笠山	既設	288.43	215い、216い・ろ 217い・ろ、218い 219い・に、220い～は 221い・ほ、222ほ 225に、226ろ ----- 219ろ・は 221ろ 222は・に 226は ----- 216い・ロ、217い 220い・ロ、221い	入笠山の湿原を取り 囲んでいる一帯で、カ ラマツ壮齢林にモミ、 トウヒ等の天然林が混 入した森林地帯であ る。 山頂から八ヶ岳、甲 斐駒ヶ岳、鋸岳等の山 容が一望でき、隣接す る富士見町側の民有地 はキャンプ場、スキー 場、宿泊施設の開発が 進んでいる。 民有地と一体的な利 用がされ、また、民有 地の背景林として優れ た景観を呈している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業 ----- 林 地 以 外	・ 歩道 (国・地方公共団体) ・ 園地 (国・地方公共団体) ・ 駐車場 (富士見町)		
しらび そ高原	改 設	302.15	3174わ、3175は 3179に 3180ろ・に ----- 2074ろ、2075ろ 3002ち、3003に・ぬ 3006は、3007は 3171わ、3172は 3173に・ほ、3174ほ 3175い・に～と 3176ほ・へ 3178ぬ～わ 3179ろ・は	区域に指定されてい る尾高山は南アルプス の前衛的な山であり、 地元飯田市上村地区の 故郷の山として小中学 生の登山コースになっ ている。また、観光拠 点となっているしらび そ峠の背景林としての 役割を持ち、県道上飯 田線から望見される森 林である。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業	・ 園地 (飯田市) ・ 歩道 (飯田市)		
面 積 計		850.29						

(5) 風致探勝林

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
七島八島	既 設	31.25	1133は~ほ ----- 1133イ~チ 1137イ 1138ロ・ト~ヌ・ワ~タ 1142イ	国の天然記念物に指定されている霧ヶ峰最大の高層湿原「七島八島」を中核として、広大な草原となだらかなカラマツ林に覆われた一帯は、優れた景観を呈している。近接して開設されているビーナスライン沿線には駐車場、園地、休養施設、宿泊施設等が整備されている。	育成複 層林施 業 ----- 林 地 以 外	・野営場 (下諏訪町) ・山小屋 (民間) ・旅館 (民間) ・便所 (下諏訪町) ・駐車場 (長野県)		
富士見	既 設	55.44	1340ロ~ニ・ハ 1341イ2・ロ・ハ	富士見高原のほぼ中央に位置し、八ヶ岳を背景に南には南アルプスや富士山を遠望できる景勝地である。 民有地はゴルフ場を中心にして開発が進み保健休養地として優れた地域である。 昭和63年度に実施した「富士見高原ふれあいの郷整備モデル事業」の宿泊拠点として優れた景観を楽しみつつ、森林内の自然探勝、利用に供する場として適している。	林 地 以 外	・ふれあいの郷 (国)		

(単位：面積 ha)

名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
駒ヶ岳	既 設	326.72	2111は・ほ ----- 2110い・に 2111に・へ・と ----- 2110ロ・ヌ 2111イ・ト 2135イ・ハ	中央アルプスの駒ヶ岳の東側斜面に広がる天然林及び高山帯からなる地域である。 千畳敷カール等の氷河地形や、コマクサ等の高山植物が数多く生育している。 しらび平から千畳敷までロープウェイが通じており、貴重な自然環境を身近な物として触れることができる。 全域が中央アルプス県立公園に、一部が長野県指定の天然記念物となっている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (国・宮田村・駒ヶ根市) ・ 園地 (民間) ・ 山小屋 (民間) ・ 野営場 (民間) ・ ロープウェイ (民間)		
富士見台	既 設	147.11	3314は・と・ぬ・る・か、 た 3315り・る・た・ね・な、 む 3316ち、3317ろ・り ----- 3315ら、3316へ・と 3317は・ほ・と・ぬ 3318ほ・ハ ----- 3313ハ、3314イ 3315ロ、3316ハ 3317イ・ハ・ホ・チ	神坂峠を中心とした富士見台高原一帯で、モミ、シラベ、コメツガ、トウヒ等の天然林と一部にカラマツ人工林で構成されている。 神坂峠は奈良時代の東山道の要衝のあったところで国の史跡に指定されている祭祀遺跡がある。 中央道園原インターチェンジからハイキング等の利用者の増加が見込まれる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (阿智村) ・ 駐車場 (中津川市)		
面積計		560.52						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等 (単位: 面積 ha)

対象団地	面積	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
ビーナスライン沿線 (東俣国有林)	225.82	1107い・ろ、1110ろ 1111い~へ、1112い・ろ・に 1128い・ろ、1129い・に 1132い、1133い、1137は~と 1142ろ・は、1143は~ほ	育成複 層林施 業			
		1110い、1112ほ、1133ろ 1137ぬ、1142い、1143ろ	天然生 林施業			
		1107ロ~ワ、1110ロ~ホ・チ 1111ロ・ハ、1112ロ、1128ロ 1129ロ、1132ロ~ニ、1143イ	林 地 以 外			
蛇 石 周 辺 (横川国有林)	9.20	1006り~わ、1067へ	育成複 層林施 業	・園地 (辰野町)		
		1006と、1067ろ・と	天然生 林施業			
		1067ホ	林 地 以 外			

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等

該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：面積 ha)

区分	名称	設定年	面積	位置	備考
施業指標林	金沢山天然林	S59年度	4.12	1408に	天然林施業体系の確立
	西風巻広葉樹天然林	S59年度	7.82	38ち 39り	天然林施業体系の確立
	茶臼山天然林	S59年度	3.11	2066ほ	天然林施業体系の確立
	カラマツ人工林間伐推進	S60年度	2.83	311は	列状間伐による伐採・搬出経費の節減
試験地	金沢カラマツ人工林収穫試験	S36年度	1.00	1404は	カラマツ人工林の構造と成長
	カラマツ本数密度調節試験	S45年度	2.34	254い	本数密度調節の合理的な方法の追求
	亜高山性樹種の本数調節試験	S45年度	0.45	1247ぬ	伐期短縮の検討
	エゾマツカサアブラ抵抗性検定試験	S45年度	0.50	1329は	エゾマツカサアブラの生態と防除
次代検定林	関長 19号	S50年度	1.12	1101は	ヒノキ
	関長 14号	S49年度	2.10	2055ほ・へり	カラマツ
	関長 15号	S49年度	1.50	3243は・に	ヒノキ
遺伝子保存林	長遺 9号	S44年度	0.50	1329ろ	ヤツガタケトウヒ
	長遺 10号	S44年度	0.50	1329は	ヒメマツハダ
	長遺 22号	S52年度	1.50	2058わ	カラマツ
	長遺 23号	S53年度	1.50	228ち	カラマツ
精英樹保護林	カラマツ 4号	S32年度	0.63	1242ほ	諏訪 4号
	カラマツ 5号	S32年度	0.13	1248と	諏訪 5号
	カラマツ10号	S32年度	0.17	1425ろ	諏訪10号
		S32年度	0.27	1426ろ	
	カラマツ11号	S32年度	0.45	1430に	諏訪11号
	カラマツ12号	S32年度	0.02	1421ろ	諏訪12号
		S32年度	0.36	1427は	
	カラマツ13号	S32年度	0.10	1421ぬ	諏訪13号
		S32年度	0.20	1427に	
	カラマツ15号	S32年度	0.56	1067ほ	諏訪15号
ヒノキ 1号	S33年度	0.10	301ほ	伊那 1号	
ウラジロモミ 102・103・104号	S40年度	0.10	2081へ	駒ヶ根102・103・104号	

(単位：面積 ha)

区 分	名 称	設定年	面 積	位 置	備 考
精 英 樹 保 護 林	ス ギ 2号	S40年度	0.31	3211ハ	飯田2号
	ス ギ 3号	S40年度	0.06	3214ト	飯田3号
特別母樹林	特45-11	S46年度	3.48	1319ヨ	カラマツ
		S46年度	8.14	1319ヲ	カラマツ
	特48-14	S48年度	9.76	256ハ	カラマツ
		S48年度	4.38	257ヲ	カラマツ
	特48-13	S48年度	2.70	2113ホ	カラマツ

(2) フィールドの提供等

ア. 木の文化を支える森

(単位：面積 ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
御 柱 の 森 (平成14年度制定)	383.46	1137林班 1141～1146林班 1149林班 1150林班 1152林班 1153林班	協定相手方：御柱の森づくり協議会長 協定期間：平成30年3月31日まで (平成24年度末更新) 目 的：諏訪地方の伝統的な行事である諏訪大社下社の御柱祭で使用可能なモミ大径材の育成を図るため。

イ. 遊々の森

(単位：面積 ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
多 摩 市 民 の 森・ フレンドツリー (平成17年度制定)	19.09	1329い・と 1330い・ろ	協定相手方：東京都多摩市長 協定期間：平成30年3月31日まで (平成24年度末更新) 目 的：フィールドを利用した多様な体験活動を通じ森林の大切さを学習する。

(3) 森林共同施業団地

(単位：面積 ha)

名 称	対 象 地 (林 班)		面積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
伊那市杉島地区森林 整備団地	民	2 1 1 0 ~ 2 1 1 4 2 1 3 4 ~ 2 1 6 1	2,701.46	除伐・つる切・間伐 等の森林整備と森林 作業道・林業専用道 等の路網整備	
	国	1、2、 2 8 7 ~ 2 9 8	1,007.44	つる切・保育間伐・ 経常間伐等の森林整 備と既設道の改良・ 森林作業道・林業専 用道等の路網整備	
計			3,708.90		

